

東北プロジェクト、事前対策会、開催される

2017年6月29日（木）18時より、東北プロジェクトの事前学習会が開催された。先週の河北新報の武田氏の講演をふりかえるとともに、原発事故に関する風評被害について認識を深めていった。

福島の農家は原発事故による風評被害を未だに受けている。その原因とされる放射能汚染とはどういうことなのか、放射能、放射線、放射性物質、という用語の意味を確認したうえで、どのような状態になれば放射能汚染となるのかについて認識を深めていった。また、検査で放射性物質が含まれていないことが確認された福島の農作物をどう考えるのかについて、報道番組を見ながら認識を深めていった。

福島の農家の方々は風評被害に苦しんでいる。風評被害をなくすには、放射能汚染への正確な理解を深めていくことがその手段となろう。今回の学習会がその一助になるものと思われた。



福島県出身の学生が、放射能汚染について発表している様子